

サービスセンター 桂坂だより

第4号

〒610-1101 京都府京都市西京区大枝北杵掛町一丁目 21 番地の 94

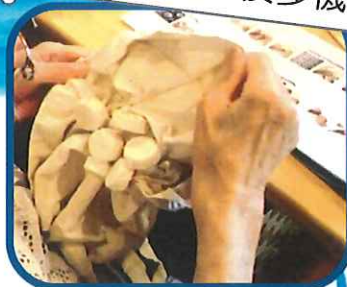
☎ 075-335-3610 令和4年9月吉日発行



2階 小規模多機能フロア

藍染

桂坂小規模には元染職人の職員がいます。今回、その職員が中心となりご利用者に藍染に挑戦していただきました！同じ材料を使っても、絞り方の強さや太さによって仕上がりが変わるのが藍染の面白いところ。世界で一つしかない、オリジナリティあふれる作品ができました。今回作られた作品は秋に行われる予定の「桂坂オータムフェスタ」にて展示予定です☆



絞って



染めて



完成！



干して



うな重テリバリ

祇園祭の山鉾巡行が行われたこの日。土用の丑の日に先駆けて、ご希望された方にうな重を食べていただく機会を設けました。大ボリュームのうな重でしたが、みなさんペロリと完食されていました。「久しぶりに食べたわ」「鰻ぎょうさんあったで」など嬉しい感想をいただきました。



グループホームでの生活

山鉾見物

3年ぶりに山鉾巡行も開催された祇園祭。コロナの蔓延や夏の暑さもあり巡行の観覧は行わず、車内から建てられている鉾の見物をしていただきました。車窓の景色を眺め、皆様とても喜んでおられました。祇園祭は平安時代に無病息災を祈念して行った御霊会(ごりょうえ)が起源とされています。一日も早い新型コロナウイルスの感染拡大の終息を、切に願ってやみません。



日々の暮らし

地域の方々との交流が難しいなか、グループホームではお誕生日会など施設内で出来る行事を行なっています。季節の移り変わりを感じることや人生の節目などが、日々の暮らしの中で埋もれてしまわないよう、これまで以上に意識していかなければと思っています。

職員紹介リレー



いつもお世話になり誠にありがとうございます。

今回、竹田課長よりバトンを受け取ってこのコーナーの執筆をさせていただく3階グループホーム主任の森本と申します。

市内中心部の事業所より赴任してから6年半が経ち、自然豊かなこの地域の季節の移り変わりを感じながら通勤しています。ここ数年は外出する機会が減り、職場と自宅を往復する生活が定着しつつある中で、最近は動画配信サービスを利用して、映画やドラマを見る事にハマっています。当事業所においても活動に制限があり、地域の皆様との交流が難しい現状において何ができるかを考え、地域交流の拠点として周知いただけるよう情報を発信していきたいと考えております。